

「第 21 回物理教育に関するシンポジウム」開催案内と研究発表の募集

新技術の開発、情報伝達手段の発展などによって、われわれの生活様式が加速度的に変化しているとともに、それらを支える科学と技術を啓蒙する活動の必要性が議論されている。そこで「理科教育における連携と支援のあり方」をテーマにして、教育機関による連携と支援の活動事例を紹介していただき、意見・情報交換の機会を設けることにしました。あわせて、一般講演による研究発表と実験教材等の演示発表を募集します。

さらに、小中学生を対象にした理科実験工作教室と高校生による研究発表を計画しています。こちらへの参加とご支援もお願いいたします。

主催： 応用物理学会応用物理教育分科会

共催： 応用物理学会東海支部，応用物理学会中国四国支部

後援： 依頼中

日時： 2010年11月20日（土）13:30開始，11月21日（日）16:00終了予定

場所： 鳴門地域地場産業振興センター 〒772-0003 鳴門市撫養町南浜字東浜 165番地の10（鳴門市消防本部横）

内容：

11月20日（土） 講演・研究発表会

招待講演者

「城南高校 SSH の実践」	徳島県立城南高等学校	中村 英幸
「理数科教育に関する国際教育協力の事例」	鳴門教育大学教員教育国際協力センター	小澤 大成
「鳴門教育大学におけるフレンドシップ事業としての理科実験教室 その経緯と現状について」	鳴門教育大学自然系コース（理科）	武田 清

一般講演（質疑応答を含め1件20分程度による口頭発表を予定）

口頭発表にはパーソナルコンピュータと液晶プロジェクタを使用します。MS-Windows 版 Microsoft PowerPoint と Adobe Reader は主催者で用意します。他の発表用機器に関しては発表者をご用意ください。PowerPoint のバージョンは互換機能パックインストール済 PowerPoint 2003 です。

11月21日（日）

- 実験教材の演示発表： テーブル上での演示とポスターによる教材の紹介
- 理科実験工作教室： 小中学生を対象にした理科教室を開催します。
- スーパーサイエンスハイスクールおよびサイエンスパートナーシップ・プロジェクトの研究活動報告： 高校生による研究、活動の報告があります。

参加費など： 無料（ただし、講演予稿集代1部1,500円を予定）

一般講演、演示発表の申し込み： 下記の項目を明記の上、FAX または電子メールにて、申し込み先までご連絡ください。締切りは9月30日（木）です。

発表方法（一般講演または演示発表）、題目、氏名、所属、住所、電話番号、FAX 番号、e-mail アドレス

予稿集原稿： Microsoft Word にて、A4用紙（上下左右2.5cmの余白）横書き2頁以内のモノクロ・カメラ・レディ形式で、下記の順序にしたがって作成してください。原稿は電子メールに添付して、申し込み先まで送付してください。締切りは10月15日（金）です。

○題目：ゴシック14pt，中央揃 ○一行空白 ○氏名：明朝12ptを使用，中央揃 ○所属：明朝12ptを使用，中央揃，所属が複数の場合は氏名と所属を*印で対応付け ○一行空白 ○本文：10.5～12pt フォントを使用

問い合わせ・申し込み先：

鳴門教育大学 自然系コース（理科） 本田 亮

〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748番地 TEL/FAX：088-687-6416，e-mail：hondam@naruto-u.ac.jp

（会誌「応用物理教育 Vol.34, No.1」会告に記載の問い合わせ・申し込み先の電子メールアドレスに誤植があります。

問い合わせ・申し込み先として、ここにあるものにご連絡ください）